令和　年　月　日

第３回いばらきイノベーションアワード参加申込書

１　応募者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （フリガナ） |  | （フリガナ） |  |
| 企業名 | ※個人で応募の場合は氏名 | 代表者職氏名 |  |
| 所在地（住所） | 〒 |
| ＵＲＬ |  |
| 県内に有する事業所 | [ ] 本社　　　　[ ] 工場　　　　[ ] 研究所　　　　[ ] その他（　　　　　　　　） |
| （事業所名） |
| （所在地） |
| 事業概要 |  |
| 連絡担当者 | （所　属）（職　名）　　　　　　　　　　　　（氏　名）（ＴＥＬ）（　　　）　　　－　　　 （Ｍａｉｌ）（ＦＡＸ） |

２　新製品・新サービスの概要

|  |  |
| --- | --- |
| （１）新製品・新サービス名 |  |
| （２）新製品・新サービスの販売開始時期※対象期間内に大きな改良・改善した新製品・新サービスとして応募する場合、改良・改善後の製品等の販売開始時期 | 平成・令和　年　月 |
| （３）新製品・新サービスの販売実績 |  |
| （４）新製品・新サービスが特許、実用新案等の知的所有権に係る場合（申請中のものを含む。）は、別表よりご記入ください。（健康・医療関連は厚生大臣の承認番号） |
| （５）新製品・新サービスの概要 |
|  |
| （６）対象期間（概ね３年）以前に既存の製品があり、対象期間内に大きな改良・改善した新製品・新サービスとして応募する場合、改良・改善部分について、記入してください。（該当のある場合のみ記入） |
|  |
| （７）新製品・新サービスの特長、アピールポイント |
| ○革新性・独創性○汎用性・市場性○地域の課題解決に貢献できるところ○先端技術の社会普及につながるところ○その他（自由に記載してください） |

＜評価基準＞

①革新性・独創性があること：他には見られないような革新的・独創的な特長のある新製品・新サービスか、従来の新製品・新サービスとは変革を成すものか。

②汎用性・市場性があること：様々な用途として利用することができるのか、また需要のあるものか。販売実績はどの程度あるのか。

③地域の課題解決に貢献すること：茨城県内の地域に貢献できる点はあるか、また貢献している実績はあるか。県民の生活のため、貢献できる点はあるのか。

④先端技術の社会普及につながること：費用及び利便性、安全性等総合的に判断して、社会に取り入れやすい新製品・新サービスであるのか。また、人々の生活を豊かにすることはできるのか。

３　その他

|  |
| --- |
| （１）今回応募した新製品・新サービスについて、過去に他の団体等から受けた受賞歴等あれば記入してください。 |
|  |
| （２）今回応募した新製品・新サービスについて、助成・ベンチャーファンド等からの出資の実績があれば記入してください。 |
|  |
| （３）今後、新製品・新サービスにおいて、協力してほしいことがあればご記入ください。 |
|  |

４　記入条件

・応募書は10.5Ｐｔ以上、項目３（その他）までで、片面４枚以内で記入ください（別表を除く）。

・書き方は箇条書きでも構いません。

・郵送の場合は白黒コピー・カラーコピーでもどちらでも構いません。

５　添付資料

新製品・新サービスの既存のカタログ・パンフレット

※カタログ・パンフレットがない場合は、写真等を活用した説明資料（10.5Ｐｔ以上，A4版両面３枚以内）

６　応募上の注意

・提出いただいた書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承願います。

・受賞者の発表後に虚偽の事実等が発生した場合には、審査結果を取り消す場合があります。

・審査結果に対する異議申し立て等は受け付けません。

・対象期間内に大きな改良・改善した新製品・新サービスとして応募する場合、改良・改善部分について審査いたします。

　・ご記入いただいた個人情報は、本アワードの運営と関連事業（本アワードのPR等）の実施のために利用いたしますので、法令に定めのある場合やご本人が同意している場合を除き、目的外利用することや第三者に提供することはありません。

（別表）

新製品・新サービスについて、特許、実用新案等の知的所有権に係る場合、下記をご記入ください。

|  |
| --- |
| ①特許（出願）等番号 |
|  |
| ②特許等の名称 |
|  |
| ③応募案件における特許等の使用箇所 |
|  |
| ④許権者（出願者）及び発明者（開発担当者）の所属及び氏名 |
|  |
| ⑤共同出願者の所属及び氏名 |
|  |